

2. 「令和8年度音響基礎講習会」 開催報告

日本音響材料協会

1. はじめに

本協会主催の「音響基礎講習会」が7月2日(木)に、吉野石膏虎ノ門ビル大会議室(虎ノ門)にて開催されました。

音響基礎講習会は、音の基礎知識を必要とされる方や新入社員の方、音の基礎知識を改めて勉強したい方、最近の音響技術の動向を確認されたい方などを対象として年1回、開催しております。

講師陣は、音の専門家として活躍されている実務者の方々ですので、経験談なども交えながら、実際に会場で音を体感し、基礎知識を学ぶことができる講習会です。

今回の基礎講習会は、次に示す6つのテーマについて実施されました。

1. 音の基礎知識
2. 音響材料(吸音・遮音)
3. 騒音の防止
4. 振動の防止／固体音と体感振動の防止
5. 室内音場
6. 音響測定

開会にあたり、(社)音響材料協会 理事長 三和にご挨拶いただきました。基礎講習会は丸一日と長い時間の開催ですが、音の勉強だけでなく、講師や参加者等で交流するなど活気のある基礎講習会にしてほしいと講習会の活用を促していただきました。



【テーマと講師】

1. 音の基礎知識

講師：星野 康 氏(日本環境アメニティ (株))



音の基礎知識として、音の伝わり方や拡散、反射、屈折、回折、干渉といった基礎現象、音の三要素、音の単位であるdBに関する説明、騒音の評価方法や法規制について、基礎を丁寧に解説していただきました。

2. 音響材料(吸音・遮音)

講師：森田 健 氏(日本環境アメニティ (株))



吸音・遮音に関する基礎の説明をしていただきました。吸音と遮音との違いを理解しやすいよう、吸音材料、吸音率の種類と測定方法、遮音材料と透過損失とその測定方法などを紹介されとても解りやすく解説していただきました。

3. 騒音の防止

講師：平田 武士 氏

(日本音響エンジニアリング 株)



騒音防止設計の手順について、体系的に解説いただきました。部位(壁・床・天井)毎の遮音構造について詳しく解説いただきました。また、今テーマでは時間ぎりぎりまで質疑応答が活発に行われました。

4. 振動の防止／固体音と体感振動の防止

講師：山野 彰太 氏(ヤクモ 株)



振動の防止策には、防振と制振があります。違いがよく分からず混同してしまいがちですが、丁寧に解説していただきました。それぞれの特徴、用いられる材料、使用例を提示しながらの説明で理解が深まったと思います。

5. 室内音場

講師：伊藤 夏美 氏

(日本音響エンジニアリング 株)



音場(おんじょう)は音波の存在する空間とのこと。室内音場の要求事項に対し、指標や対策について解説いただきました。また、室用途別の注意点の説明では、実例を用いた説明や実際に音を流しての対策の有無、現場規模の違いにて分かりやすく説明いただきました。

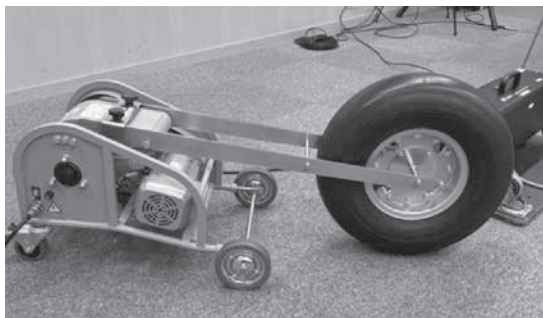
6. 音響測定

講師：伊藤 幸一 氏

(日本音響エンジニアリング 株)



音響測定を実施することの意味と目的、音響関係測定機器の説明、測定方法、評価方法について詳しく解説していただきました。また、体験デモでは音圧レベル差体験ができ、床衝撃音測定用の装置(バングマシン、インパクトボール、タッピングマシン)なども紹介していただき、より具体的に理解ができました。



＜重量床衝撃音発生器 バングマシン＞

各テーマの終了後には、講義の内容にとどまらず実務につながる視点から様々な質問が上がりました。講習会を通して、音に関する理解が知識と体験の両面から深められた有意義な1日になったと思います。

日本音響材料協会では、基礎講習会以外にも建築学会や業界の第一線で活躍されている講師を招き、より専門的な知識習得のための「音響技術講習会」も計画しておりますので、興味のある方は日本音響材料協会のホームページをまたは事務局へお問い合わせください。